

平成25年度関東ブロック会議開催報告

平成26年の新年を迎え、まだ正月気分も漂う1月25日(土)さいたま市の大宮駅前「東天紅」に関東6県が集い開催されました。

本年度は麻布大学同窓会として小野口勝巳会長からのご挨拶と同窓会及び大学の近況を含めたお話の中では、同窓会の拠点として交流会館が検討されていること、大学では特性を強調した養豚大学セクションのオープン計画等、新しいニュースも紹介されました

会議は冒頭に伝達事項として麻布大学同窓会理事会の内容から、平成25年度事業及び会計中間報告についての資料を中心に説明しました。

更に平成26年度の予算編成の基本方針(案)についても紹介したところ、出席者は将来にむけての厳しくなりつつある会の姿を痛切に実感されたようでした。

また各県支部の現況説明の中では、現在進行中の「代議員会及び理事会あり方検討委員会」の統計資料から:全国の各支部および3部会(獣医、動物応用、生命・環境)の正会員、維持会員について:を紹介したところ、既に関東の中においても近年、卒業生ゼロとなっている県が発生していました。

各県の取り組み情報から、支部新会員の増加のために今後に向けて、従来型の年に一度の大宴会スタイルの支部事業だけでなく、さらにもっと交流の機会を増やし、ゴルフとか多様な内容にシフトしていくことが必要であると考えさせられたところでした。

小野口会長からは同窓会長および学校法人監事などの日々多忙なご経験から、学園と同窓会の基本的な概況、また、全国各地の支部の現況については大変に厳しい県もあること、子弟の大学入学に苦心されているOBが多いことが熱く語られました。

来る125周年事業については募金実行委員会の資料を活用し現況と今後の流れについて説明したところ、この度の自分たち同窓会と大学の関係についても正しく理解されました。

各支部の誰しものが今後何とかしたい気持ちが悶々としていて、同窓会の有効な活動により少しでも、大学が更に素晴らしい大学に成長するために何かできると皆が考えているようでした!!!

(関東ブロック理事 斎藤憲彦)